

学年	高校3年	教科	地歴公民	科目	倫理・政治経済演習（選択）	単位数	7
教科書名	高校政治・経済（実教出版）			副教材名	20日完成スピードマスター政治・経済問題集（山川出版） 20日完成スピードマスター倫理問題集（山川出版） 政治・経済用語集 第2版（山川出版） 倫理用語集 第2版（山川出版）		
コース・クラス	特進文系						

## I. 目標

1. 大学入学共通テスト8割突破を目指し、難関大学合格に向けて模擬試験や入試問題に対応できる実力を養う。
2. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。
3. 倫理・政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究する。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

## II. 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考える。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につける。
3. 進路目標に即した問題演習を行うことで、国公立・難関私大（MARCHレベル）に対応できる学力を目指す。

## III. 授業の進め方

1. 毎時間、冒頭に時事問題を取扱い、世の中の動きをつかむようにする。
2. 板書を軸とした講義に加え、電子黒板や図表も活用し、効率的に授業を進める。
3. DVDや図表を効果的に活用し、視覚から理解を深めさせる。主権者教育はAL方式で行い、より実効性のあるものとする。
4. 小テストを実施し理解度を確認すると共に、單元ごとに大学共通テストレベルの問題を解く。

## IV. 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を理解すること。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚えること。
3. 板書の書き写しだけでなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけること。

## V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 政治分野（日本国憲法の基本的性格）・経済分野（現代経済と福祉の向上）  
倫理分野（青年期の課題と自己形成・）
- 1学期 期末試験 : 政治分野（日本国憲法の基本的性格）・経済分野（現代経済と福祉の向上）  
倫理分野（人間としての自覚）
- 2学期 期末試験 : 政治分野（現代の国際政治）・経済分野（世界経済と日本）  
倫理分野（現代に生きる人間の倫理）

## VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目		評価方法	到達目標			
一 学 期	4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本 原理	第1編 青年期の課題と 人間の自覚	小テスト 中間試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権の意義、法の支配、民主政治の発達、世界の政治体制、20世紀の教訓を学習し、民主政治の課題は何かを考える。</li> <li>・資本主義経済の発達と変容、その特徴について学習し、経済活動の意義と経済のグローバル化が生活に及ぼす影響について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次の復習として、定期的に共通試験、難関私大の演習問題を解く。</li> <li>・青年期について多角的に考える。</li> <li>・人間とは何か、哲学的視点から考える。</li> </ul>		
	5	1. 政治と法 2. 民主政治と人権保障 3. 国民主権と民主主義の 発展 4. 世界の政治体制	第1章 青年期の課題と 自己形成 第1節 青年期の意義 第2節 青年期の課題				小テスト 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の生き方について考察する。</li> <li>・それぞれの宗教の特徴を理解する</li> </ul>
	6	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容	第2章 人間としての 自覚 第1節 ギリシア思想 第2節 キリスト教 第3節 イスラーム 第4節 仏教 第5節 中国思想					
	7	1. 経済活動の意義 2. 経済社会の形成と変容 3. グローバル化と現代資本主義経済	第1編 現代の政治 第3章 日本の政治機構				小テスト 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の生き方について考察する。</li> <li>・それぞれの宗教の特徴を理解する</li> </ul>
		1. 立法 2. 行政 3. 司法 4. 地方自治						

一 学 期	9	第2編 現代の経済 第2章 現代経済のしくみ 1. 市場機構 2. 現代の企業 3. 国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ 5. 財政のしくみ	第3章 日本人としての 自覚 第1節 古代日本人の思 想 第2節 日本の仏教思想 第3節 近世日本の思想 第4節 西洋思想の受容 と展開	基礎学力 到達度テ スト対策	・経済主体、市 場、国民所得、 経済成長、金融、 財政の役割を学 習し、経済活動 がどのように調 整されているか 考える。  ・中小企業、農 業、国民の生活、 環境・公害、労 働問題、社会保 障等、多様な課 題への取り組み を考える。  ・国際法、国際 連合、冷戦終結 後の国際政治、 核軍縮や管理に ついて国際社会 と日本の関係に ついて戦後史と ともに考える。  ・国際経済体制 の変化について 考える。戦後の 国際秩序の変化 に関わる諸問題 を理解する。	・古代日本人の 宗教観について、西洋の宗教 観と比較する。  ・日本で受容さ れた仏教の特 徴、鎌倉新仏教 の特徴、日本文 化と仏教の關係 について理解す る。  ・日本における キリスト教の受 容、西洋近代思 想、民俗学や文 芸批評について 理解する。  ・近代の自然科 学、機械論的自 然観を理解し、 それらが与えた 影響について考 察する。  ・共通試験に向 けての演習問題 を解く。
	10	第2編 現代の経済 第3章 現代経済と福祉の 向上 3. 日本の中小企業と農業	第2編 現代と倫理 第1章 現代に生きる人 間の倫理	小テスト		
	11	4. 国民の暮らし 5. 環境保全と公害防止 6. 労使関係と労働条件の 改善 7. 社会保障の役割	第1節 人間の尊厳 第2節 科学・技術と人間 第3節 民主社会と自由の 実現			
	12	第1編 第5章 現代の国際政治 1. 国際政治の特質と 国際法 2. 国際連合と国際協力 5. 国際紛争と難民	第4節 社会と個人 第5節 人間への新たな問 い 第6節 社会参加と幸福	小テスト 期末試験		
		第2編 第4章 世界経済と日本 1. 商品・資本の流れと国 際収支 5. 経済協力と人間開発の 課題				

※ シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。